

土壌改良材



鳥取県認定グリーン商品

とりエコバーク



とりエコバークは、鳥取県内から産出される樹皮や木くずを主原料に、家畜ふんや刈草、動植物性残さなどを加えて堆積発酵させた循環型資源100%使用の**地球環境にやさしい**土壌改良材です。



★土壌の膨軟化にご使用ください。

施用方法(標準的な施用量)

- 水田 10a当り 500~1000kg
- 一般畑地 10a当り 3000~5000kg
- ハウス 10a当り 3000~5000kg

製造元



北溟産業有限公司

鳥取県倉吉市岡20-10

TEL(0858)28-5782

FAX(0858)28-6425

R100

古紙配合率100%の再生紙を使用しています



倉吉パークスクエアの 植栽に使用

(鳥取県認定グリーン商品)

根の張りを促進し、
青々と茂った樹木
に育ちます。

国道313号線法面の植生に使用

とっとりエコソイルと芝生の種を吹き付け、
土砂崩れ防止に貢献



(鳥取県認定グリーン商品)
(エコマーク商品)



(鳥取県認定グリーン商品)

菜園・畑に使用

有機栽培で甘くておいしい
野菜や果物ができます。



花壇苗の土に使用

花色鮮やかで、健康な苗に
育ちます。

地球に優しい

エコソイル



県立米子西高校舎屋上 緑化に使用

省エネ効果やヒートアイランド現象の緩和に貢献。



(鳥取県認定グリーン商品)



北溟産業有限公司

鳥取県倉吉市岡20-10
TEL0858-28-5782 FAX0858-28-6425

製品行程一覧



製造行程



認定番号 第 16 号

鳥取県認定グリーン商品認定証

住 所 倉吉市岡 20 番地 10

氏 名 北溟産業有限会社
代表取締役 中川 優広

鳥取県グリーン商品認定要綱第 3 条第 1 項の規定により認定を受けた商品であることを証する。

令和 4 年 3 月 23 日

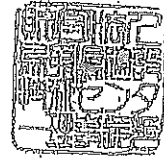
鳥取県知事 平井伸浩



認 定 年 月 日	平成 15 年 10 月 30 日
認 定 の 有 効 期 限	令和 7 年 3 月 31 日
品 目 名	土壌改良材、緑化基盤材
認 定 商 品 名	とりエコパーク
用 途	法面の緑化基盤及び造園・田畑の土壌改良
原材料となる循環資源名	樹皮・木くず、動植物残さ、家畜ふん尿
製造・加工事業所の名称	北溟産業有限会社
製造・加工事業所の所在地	倉吉市岡 20 番地 10
認 定 条 件	—

北溟産業有限公司 様

財団法人鳥取県建設技術センター理事長



新技術・新工法及びリサイクル製品活用システムへの応募結果に
ついて (通知)

平成18年2月20日付けで申請のあったこのことについては、下記のとおりです。

記

- 名 称：1. 北溟パーク
2. とリエコパーク
3. だいせんエコソイル
4. とっとりエコソイル

応募結果：以下の理由により承認 (実施要領 3 (3) イ) となりました。

理 由：

1. 北溟パーク

原料すべてが県内産であり、鳥取県認定グリーン製品 (鳥取県リサイクル製品使用基準 Aランク) に認定されている。

経済性についても、県単価のバーク堆肥と同等であることから承認する。

2. とリエコパーク

原料すべてが県内産であり、鳥取県認定グリーン製品 (鳥取県リサイクル製品使用基準 Aランク) に認定されている。

経済性についても、緑化基盤材として同等品と比較した場合には優れていることから承認する。

3. だいせんエコソイル

原料すべてが県内産であり、鳥取県認定グリーン製品 (鳥取県リサイクル製品使用基準 Aランク) に認定されている。

経済性についても、緑化基盤材として同等品と比較した場合には優れていることから承認する。

4. とっとりエコソイル

原料すべてが県内産であり、鳥取県認定グリーン製品 (鳥取県リサイクル製品使用基準 Aランク) に認定されている。

経済性についても、緑化基盤材として同等品と比較した場合には優れていることから承認する。

品質証明書

品名	とリエコバーク
用途	土壌改良材・緑化基盤材
形態	ポリ袋（50リットル）
成分	バーク堆肥

以上の通り証明いたします。

令和 年 月 日

製造元

鳥取県倉吉市岡 20-10

北溟産業株式会社

代表取締役 中川優広



令和5年8月18日

証 明 書

公益財団法人 日本肥糧検定協会

関西支部 扱

下記成績は、依頼者から提出された試料について行った分析・試験結果であることを証明します。

依頼者名 北溟産業有限会社

試料名 とりエコパーク
(依頼者指定の名称)

記

分析・試験結果

項目	分析結果	乾物換算値	単位	分析方法 (肥料等試験法(2022))
水分	55.13	—	%	3.1.a 乾燥器による乾燥減量法
窒素全量 (N)	0.68	1.48	%	4.1.1.a ケルダール法
りん酸全量 (P ₂ O ₅)	1.10	2.40	%	4.2.1.a パナトモリブデン酸アモニウム吸光度法
加里全量 (K ₂ O)	0.29	0.63	%	4.3.1.a フレーム原子吸光法
有機物 (強熱減量法)	29.09	63.42	%	土壌改良資材品質表示基準 (昭和59年農林水産省告示第2002号) 別紙試験方法を準用
有機炭素 (C)	15.47	33.73	%	4.11.1.b 燃焼法
炭素窒素比 (C/N)	23		—	4.11.2.a 有機炭素及び窒素全量による算出
陽イオン交換容量	36.5	79.6	meq/100g	肥料分析法 (1992) 5.31.2 酢酸バリウム法
pH(乾物相当量 1:10水, 28°C)	7.3		—	3.3.a ガラス電極法

分析・試験責任者 藤 森 広 智